

様式第7号の1(第48条関係)

年 月 日

市川市消防長  
市川市 消防署長

住 所  
申告者 職 業 電 話  
氏 名

不動産り災申告書  
記

1	り災年月日	年 月 日	り災物件と申告者等の関係	所有者・管理者・占有者	
	り災場所	市川市			
2	建築・購入年月	年 月			
	推定・記録・記憶等	推定 ・ 記録 ・ 記憶 ・ 不明			
	建築・購入金額	総金額 円			
3	取得後の経過				
	修繕等	年 月	金額	修繕した箇所	
	増築	年 月	金額 円	増築面積等	
4	火災保険の契約				
	契約会社名	契約期間	保険金額(万円)		
		～			
		～			
5	建物・収容物以外のり災状況				
	り災物件名	り災別	数量又は面積	経過年数	
		焼・爆・他			
		焼・爆・他			
		焼・爆・他			
	焼・爆・他				

## 不動産り災申告書記入要領

- 1の欄 り災物件と申告者等の関係は、あてはまるものを○で囲んで下さい。
- 2の欄 ① 建築、購入年月、金額の欄は、記録(帳簿や契約書など)によって明らかなものなのか、推定によるものかなど、あてはまるものを○で囲んで下さい。
- ② 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた総金額を、円単位で記入して下さい。
- 3の欄 ① 取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築又は増築があった場合に記入して下さい。
- ② 修繕した箇所、増築面積等の欄は、いつ、どこの部分をどのくらい(m<sup>2</sup>)、修繕改築、増築し、いくら(金額)かかったのか記入して下さい。

	年 月 日	修繕した箇所	金 額
(例) 改築	平成3年5月	1階店舗部分 30m <sup>2</sup>	3,600,000円
(例) 増築	昭和58年7月	2階住宅部分 20m <sup>2</sup>	2,000,000円

- 4の欄 契約保険会社の正式名、契約期間、保険金額を記入して下さい。数社加入のある場合は、全て記入して下さい。
- 5の欄 ① 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物、収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入して下さい。
- ② り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んで下さい。
- (1) 焼：火災によって焼けたもの及び熱によって炭化、溶融又は破損したものなど
- (2) 爆：爆発により、壊れたものなど
- (3) 他：消火のために受けた水損、破損、汚損など
- 火炎により汚れたものなど
- 運び出すときに壊れたものなど

- 備考 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用して下さい。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して5日以内に提出して下さい。
- 4 火災によるり災証明書を発行する場合、この申告書が出ていると、早く発行することができます。
- 5 この申告書の不明な点につきましては、次の消防機関にお問い合わせ下さい。

市川市消防局 課  
市川市 消防署  
市川市 消防署 出張所  
電 話 ( )  
担当者